

平成29年度 峰小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

人間尊重の教育を基盤に、心身ともに健康で、自分の夢や目標のために自ら考え進んで行動できる心豊かでたくましく生きる児童の育成

(1)健康でたくましい子【元気】(2)よく考え進んで学ぶ子【やる気】(3)心豊かで、思いやりのある子【思いやり】

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

テーマ「地域に学ぶ学校づくり」

- (1) 常に児童が主役となる学校をめざす。
- (2) 児童の長所を引き出し、ほめて伸ばす教育を実践する。
- (3) 重点項目を掲げ、学校・家庭・地域が一体となり重点活動に取り組み、教育目標の実現をめざす。
- (4) 陽東地域学校園の教育ビジョンを念頭に、小中一貫教育を生かした教育活動の充実を図る。
- (5) 重点活動の評価項目や具体的目標値を設定し、組織を生かして目標値の達成をめざす。
- (6) 評価者の評価等を踏まえ、具体的な改善策を講じて目標値に迫る経営をめざす。
- (7) 学校経営の重点目標を学年・学級経営計画や職員の行動規準表に反映させ、組織的な取組により、具体的目標値の達成をめざす。
- (8) 評価を児童や教職員の意欲及び成果向上の道具（ツール）として生かす。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 子どもを生かす学校
 - ・ 自ら課題をもち、進んで行動できる児童の育成
 - ・ 基礎・基本の確実な定着を目指した個に応じたきめ細かな指導の充実
 - 学習意欲を高める楽しく分かる授業の実践
 - ・ 児童が主役となる場の意図的な設定と、自己の成長を実感できる活動の推進
- (2) 組織を生かす学校
 - 教育専門職としての資質と能力の向上を目指した校内研修の活性化
 - ・ 組織マネジメントの考えに基づき、全教職員協働による教育目標の達成
 - ・ 教職員の専門性や特性が生かせる校務分掌や指導形態の工夫
- (3) 地域を生かす学校
 - ・ 地域協議会を窓口とした保護者や地域団体等の学校へのさらなる積極的な参画の推進
 - ・ 外部の学校評価などを活用し、地域住民が来校したくなる開かれた学校づくりの実現
 - 地域活動等への積極的な参加の奨励と相互理解の推進

〔陽東地域学校園教育ビジョン〕

地域の教育力を生かし、地域とのかかわりを通して、心豊かでたくましく生きる子どもの育成

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【 学 校 運 営 】

- ・ 最重点活動 [峰小 元気・やる気・思いやり活動]
- ・ 全体で育てたい児童像・・・「自分の夢や目標を実現するために自ら考え進んで行動できる児童」

【 学 習 指 導 】

【やる気】「よく考え進んで学ぶ子」（スタンダード：学習面～基礎・基本を身に付け、進んで学習します）

○基礎・基本の確実な定着を目指した学習活動の充実と家庭学習の習慣化

○読書活動の推進

- ・ 「できた」「分かった」が実感できる「分かる授業」の展開と振り返り活動の充実

【 児 童 生 徒 指 導 】

【思いやり】「心豊かで、思いやりのある子」（スタンダード：生活面～ルールやマナーを守り、協力して生活します）

○あいさつ運動の推進 ～各種団体と連携したあいさつ運動の実施

- ・ ルールやマナーを守る態度の育成 ～「峰小よい子の一日」に即した指導の徹底

・感謝する心や互いを認め尊重する態度の育成 ～感謝の会、いじめゼロ集会の実施

【健康（保健安全・食育）・体力】

【元 気】「健康でたくましい子」（スタンダード：健康・体力面～元気に運動し、健康でたくましい心と体をつくります）

○健康・体力向上活動 ～元気っ子チャレンジや各種検定への積極的な参加

・歯磨き指導（きらきらクラブ）の継続 ～歯磨きボランティアの活用

○素晴らしい生活習慣の育成 ～「早ね・早起き・朝ごはん」の徹底と食育指導の充実

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	<p>A 1 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「私は、今の学校が好きです」⇒児童の肯定的回答 85%以上</p>	<p>①学校行事や児童活動等で、児童が自主的・主体的に取り組む場を意図的に設定する。特に、<u>あいさつ運動</u>では、<u>児童の発想や主体性を生かし、学校全体であいさつの気運を高めている。</u></p> <p>②Q-U テストや学校生活アンケートを活用して、一人一人の児童にとって居がいのある学級づくり、分かる授業の展開に努める。</p> <p>③学級活動やロング昼休みを利用して、学級全員で遊んだり教師と児童が共に遊んだりする機会をもつ。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>児童の肯定的回答は91.4%で十分に達成している。地域学校園で同一日のあいさつ運動や、児童会と保護者が連携したあいさつ運動を実施したことにより、あいさつの気運に盛り上がりが見られた。学級担任は、Q-Uテストや学校生活アンケートを活用し、一人一人の児童の声に耳を傾け、居がいのある学級づくりに努めた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>学校行事等の活動に教職員だけでなく、児童の反省や意見を取り入れていく。</p>
	<p>A 2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「先生は大切なことを熱心に指導してくれる」⇒児童の肯定的回答 85%以上</p>	<p>①児童の実態を考慮した、創意工夫ある学年・学級経営を実践する。</p> <p>②全職員が学校経営に参画している意識を持ち、学習指導・児童指導等の課題を共有するとともに、組織的な指導体制のもとで同一歩調で指導に当たる。</p> <p>③校内研修の活性化、一人一授業の実施等を通して、一人一人の教員の授業力向上を図る</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>児童の肯定的回答は98.3%で十分達成している。全職員で児童の実態をよく把握し、児童の良さを伸ばす指導・支援を行ってきた。また、授業力向上をめざし、校内研修や授業研究会を実施した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>引き続き、情報や課題を共有し、全職員足並みをそろえて指導に当たる。一人一授業を効果的に実施し、教員の授業力向上を図る。</p>
	<p>A 3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①「学習のきまり」を掲示し、必要に応じて確認させるなどしながら、学習訓練を徹底させる。</p> <p>②「峰小よい子の一日」に基づいた生活目標を設定し、学級活動や朝・帰りの会等で繰り返し継続的に指導していくことにより、基本的な生活習慣を身に付けさせる。</p> <p>③「峰小よい子の一日」徹底運動を行い、めあてをもたせたり振り返りをさせたりして、自覚を深めさせる。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>肯定的回答割合は、教職員・保護者とも、ほぼ90%となっている。地域住民の肯定的割合は、100%である。児童は80%を超えており、数値指標を上回っている。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>「学習のきまり」や「峰小よい子の一日」徹底運動を継続し指導していく。さらに教師間の情報交換を密に行い組織的に学習・児童指導を行う。</p>

<p>A 4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」⇒児童の肯定的回答 85%以上</p>	<p>①授業のめあてを明確にするとともに、板書や発問、授業形態等を工夫した授業を行う。また、終末には授業で分かったことを振り返る時間を持つ。</p> <p>②児童一人一人の実態をとらえ、教材研究をするとともに、学校課題の研究や一人一授業等で積極的に授業を公開し、互いの指導法を向上させる。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>児童の肯定的回答割合は96.2%と、数値指標を大きく上回っている。昨年度に比べて、保護者の肯定的回答が約2パーセント上昇し、9割を超えた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>今年度の取組を引き続き行う。とくに、振り返りの時間の確保が十分でないので、意識して設けるようにする。一人一授業も継続して行い、指導法の向上を目指す。さらには、指導法などの自主公開を奨励し研鑽に励む。</p>
<p>A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」⇒児童の肯定的回答 90%以上（いじめ解消率 100%）</p>	<p>①いじめ防止強調月間はもとより、あらゆる機会を通して、いじめが許されない行為であることを指導する。</p> <p>②アンケートや教育相談の結果を踏まえて、道徳や学級活動の時間に望ましい人間関係を醸成するための心情や判断力を育てる。</p> <p>③HP や学校だより・児童指導だより・学年だよりを利用していじめ対策や学校の現状を公表し、家庭・地域との連携を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>肯定的回答割合は、教職員・児童・地域住民は90%を超えている。保護者は、77.4%で、昨年度よりやや増加している。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>「いじめ防止強化月間」「教育相談」を実施する。いじめ抑止のためのアンケートを2か月に一回程度実施する。学級において道徳や学級活動などを利用して、いじめは許されないものだという心情を育てていく。また、HP や学校便り、児童指導便り、学年便り等を通して周知に努める。</p>
<p>A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている</p> <p>【数値指標】全体アンケート「私の学校生活や様々な活動は充実している」⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①授業時間の確保に努め、日課、授業、学校行事の前年度の反省や記録をもとに教育課程を実践する。</p> <p>②今年度の反省や記録を次年度に引き継ぐとともに、課題について話し合いや検討会をもち、より適切な教育課程を編成、実施する。</p> <p>③児童が主体となる活動の時間を確保し、内容の充実を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>児童の肯定的回答は91.6%で十分に達成している。授業時間を確保するとともに、児童会主催の集会活動や各学年の音楽朝会など発表の機会を適切に配置し、児童の学校生活を充実させてきた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>今年度の反省や記録を次年度に引き継ぐとともに、課題について話し合いや検討会をもち、より適切な教育課程を編成、実施する。</p>
<p>A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」⇒保護者・地域住民の肯定的回答 85%以上</p>	<p>①授業参観、学校自由参観、親子活動、ボランティアの積極的な受け入れ等により、学校を保護者や地域に公開する機会を多く設ける。</p> <p>②学校だよりや学年だより、ホームページ等で積極的に学校の情報を発信、提供する。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>保護者の肯定的回答は、97.2%、地域住民の肯定的回答100%で十分達成している。授業参観（祖父母の参加）、引き渡し訓練、学校自由参観、親子活動、感謝の会には、多くの保護者や地域住民が来校した。校内美化委員会（児童会）では、清掃ボランティアと連携して清掃に対する意識向上が図られた。日々の活動の様子をホームページや掲示物で発信してきた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>引き続き、学校開放を推進していく。学校だより、学年だより、ホームページ等による定期的な情報発信を行う。</p>

<p>A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」⇒保護者の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 企業、地域の各種団体「街の先生」、宇都宮大学、ボランティアなどとの連携・協力による活動をさらに充実する。</p> <p>② 「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携を密にし、学校運営の充実を図る。特に、地域コーディネーターと連絡・調整を図りながら、学校支援ボランティアの活用を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>保護者の肯定的回答は94.9%で十分に達成している。年間を通して地域協議会、学校支援ボランティアが様々な活動を行い、児童の健康促進、安全確保、学習環境づくりを強力に支援した。また、外部団体、宇都宮大学生による算数ボランティアを活用し、有益な研修会や効果的な授業実践を行った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>引き続き、地域協議会や学生ボランティア連携し、地域とともに歩む学校づくりを推進していく。</p>
<p>A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「学校は、荷物や備品が整理整頓されるなど、学習しやすい環境である」⇒保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 教室内外の掲示物を整えるとともに、定期的にロッカーや机の中を整頓させるなどして、学習にふさわしい環境を維持する。</p> <p>② 場所に応じた清掃の仕方の指導の工夫や班長への指導の充実を図り、縦割り班清掃を通して望ましい環境整備に努める。</p> <p>③ 長期休業等を利用して、特別教室や資料室の整備を行う。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>保護者・地域住民の肯定的回答割合は、それぞれ93.3%、100%で、数値指標を大きく上回り、昨年度に比べ上昇した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>縦割り清掃がさらに有効に機能するように、清掃箇所交換の前に、班長を集めて清掃の仕方を指導するとよい。また、特別教室の壁面の掲示物が古かったり、色褪せたりしているので、新調する必要がある。</p>
<p>A 10 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「学校は、小学校と中学校が連携した小中一貫教育・地域学校園の取組を行っている」⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 交流授業や中学校訪問等を通して中学校進学に対する児童の不安軽減を図る。</p> <p>② 学校園で統一して登校指導・お弁当の日・統一献立・学校保健委員会等を行うことで学校園間の連携を強化する。</p> <p>③ 「陽東地域学校園ナビ」活用して児童・保護者の陽東地域への所属感を高める。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>保護者の肯定的回答は、86.7%で、十分に達成している。6年生では交流授業と中学校訪問を行い、進学への意欲を持たせることができた。特に、交流授業は、事前に中学校の先生と打ち合わせを行い、4教科(社・算・理・家庭)を実践した。児童も、中学校の先生に直接教えてもらうことで、中学校の雰囲気を感じ取り不安軽減に繋がった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>引き続き、学校園間の連携を強化していく。「陽東地域学校園ナビ」の編集やホームページで発信していくことで児童・保護者の陽東地域への所属感を高める。</p>
<p>B 1 児童は、峰小の合言葉「元気・やる気・思いやり」を意識して生活している。</p> <p>【数値目標】全体アンケート「学校は、『元気・やる気・思いやり』の合言葉を意識して生活するよう指導している」⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 峰小の合言葉を行事や活動のねらいに位置付け、意識化を図る。</p> <p>② 行事や集会等で、合言葉に沿って児童が活動する様子を示すことにより、よりよい校風づくりを推進する。</p> <p>③ 学校便り・学年だよりに児童の活動の様子を掲載し、保護者への合言葉の周知を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>保護者の肯定的回答は91.1%で十分に達成している。学校行事や校内掲示物、学年だより等への関連記事掲載・写真挿入で「元気・やる気・思いやり」を位置づけ、意識化を図ってきた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>行事や集会等で、合言葉に沿って児童が活動する様子を示すことにより、よりよい校風づくりを推進する。さらに、保護者への合言葉の周知を図っていく。</p>

教育活動の状況	<p>A11 児童は、進んであいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「児童は、時と場に応じたあいさつをしている」⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①あいさつを「今年度のテーマ」をして常に児童に意識させる。</p> <p>②あいさつ運動月間を設定するとともに、PTA や地域協議会、地域学校園等と連携したあいさつ運動を実施する。</p> <p>③教職員が率先してあいさつをする。</p> <p>④あいさつの効果や重要性について、道徳や学級活動の時間、全体朝会・一斉下校等を活用して指導する。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答割合は、教職員・地域住民・児童はおよそ90%となった。保護者は、80%程度となった。</p> <p>【次年度の方針】 年に2回のあいさつ運動を実施し、PTA や地域協議会、陽東中学校園と連携して率先してあいさつができるように粘り強く指導する。</p>
	<p>A12 児童は、正しい言葉づかいをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「児童は、時と場に応じた言葉づかいをしている」⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①場に応じた言葉づかいについて、道徳や学級活動の時間、校外学習や学校支援ボランティアとの交流の機会等を利用して指導する。</p> <p>②日々の生活の中で教師が模範を示すとともに、特に目上の人への言葉づかいについて、機会をとらえて指導する。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答割合は、教職員は90%を超え、地域住民は100%である。児童は、80%程度となった。保護者は、75.2%だった。</p> <p>【次年度の方針】 教職員が範を示すとともに、日ごろの授業や学級経営などを通じて言葉づかいについて考える機会を設け、粘り強く指導していく。</p>
	<p>B6 児童は、自分の特徴や友達の良さに気付き、自他を尊重している。</p> <p>【数値目標】 全体アンケート「自分は、自分や友達の良さに気付き、自他を大切にしている」⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①全ての教育活動の中で、自他の特徴や良さについて考えたり伝えあったりする時間を設ける。</p> <p>②人権を尊重し、いじめを許さない態度や実践力を育てる道徳の授業を、全学級、年1回は授業参観で実施する。</p> <p>③実態調査を、年に数回行うとともに、教育相談を行う。児童一人一人と向き合い、共感的理解を心がけるとともに、悩みを把握しその解決を支援する。</p>	<p>【達成状況】 教職員・保護者・児童の肯定的回答割合は、90%を超えている。</p> <p>【次年度の方針】 全ての教育活動の中で、自他の特徴や良さについて考えたり伝えあったりする時間を意図的に設ける。さらに全職員による情報交換・授業交流などを通して全校体制で自他を大切にしている指導を粘り強く継続していく。</p>
	<p>A13 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「児童は、休み時間や放課後などに積極的に運動している」⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①スポーツ集会において、多様な運動を意図的計画的に実施し、基礎体力の向上に努める。</p> <p>②昼休みに共遊の時間を設けるなどして外遊びを奨励し、体を動かす楽しさを味わわせる。</p> <p>③「うつのみや元気っ子チャレンジ」に参加し、楽しみながら運動する機会を数多く持たせる。</p>	<p>【達成状況】 教職員・地域住民・児童の肯定的回答は80%を超えている。昨年と比べて保護者の肯定的回答の割合も向上している。業間や昼休みには、校庭で遊ぶ姿がみられる。放課後も、留守家庭児童会や放課後子ども教室、帰宅後に学校で遊んでいる様子が見られる。</p> <p>【次年度の方針】 「うつのみや元気っ子チャレンジ」に参加し休み時間の遊びにつなげる。</p>

	<p>A14 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「児童は好き嫌いなく給食を食べている」⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①家庭の意識を高めるために食育だよりを毎月1回発行するとともに、親子活動などで栄養士による食に関する学習会を行う。</p> <p>②児童の栄養に対する意識を高めるため、栄養士と連携した授業や栄養指導を行う。</p> <p>③ランチルームや各階廊下の食育コーナーを整備する。</p> <p>④給食週間やお弁当コンクールなどの食育行事に進んで参加するよう支援し、各自の望ましい食習慣の醸成を図る。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答が81.4%でよく食べている様子が見られる。今年度は給食委員会が児童集会で「朝ごはんの大切さ旬の食材の栄養について」発表した。</p> <p>A</p> <p>【次年度の方針】 食育だより等で良い面を保護者に発信し、給食への関心や取り組みに目を向けてもらうとともに、児童には給食時計を使って時間の使い方を考えさせる。また、給食週間等に自分なりのめあてを振り返る時間を設定する。</p>
	<p>B2 児童は、各種検定カード等をもとに、めあてをもって運動に取り組んでいる。</p> <p>【数値目標】 全体アンケート「自分は、検定カードなどをもとにめあてを決め、達成に向けて努力している」⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①新体力テストの結果から、課題を明確にし、スポーツ集会や教科体育の時間に計画的に補強していく。</p> <p>②各種検定カード・ミニマムを活用して各人に応じためあてをもたせ、教科体育や休み時間に取組を支援する。なわとび検定では、児童同士で技を伝達する機会を設け、さらに意欲・技術の向上を図る。</p> <p>③取組の様子を、「元気活動」として学校だよりや学年だよりで家庭・地域に知らせ、意欲の向上を図る。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答は87.1%と概ね達成している。学校と家庭を往復できる検定カードを活用し、家庭の協力を得ることができている。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】 引き続き児童にめあてをもたせ、取り組みを奨励していく。児童同士での教え合い高め合う機会を設けていきたい。特になわとび検定では、技を伝達する機会を設け、さらに意欲・技術の向上をはたらきかけたい。</p>
	<p>B5 児童は、自分の歯に関心を持ち、食後丁寧に歯磨きをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「自分は、食後ていねいに歯磨きをしている」⇒児童の肯定的回答 90%以上</p>	<p>①歯と口の健康に関する意識を高めるために、学校医や養護教諭と連携した授業や保健指導を行う。</p> <p>②保健だよりを毎月1回発行するとともに、むし歯のない児童や歯磨き名人を表彰して歯磨きへの意欲を高める。</p> <p>③保健委員会やボランティアを活用して、歯磨きの個別指導を実施する。</p> <p>④クラス全員での歯磨きをさらに徹底していく。</p>	<p>【達成状況】 教職員・保護者・児童の肯定的回答は90%以上を超えている。 学級では、音楽に合わせて、落ち着いた雰囲気の中で歯磨きをしている。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】 各クラスでの給食後の歯磨き指導は、マンネリ化にならないように、時々ビデオでの指導を導入し、正しい歯磨きの指導に役立てる。 きらきらクラブの参加は自由となっているが、高学年の参加が少ないので積極的に呼びかける。</p>
学 習	<p>A15 児童は、進んで学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「児童は、授業中に進んで話し合うなど、積極的に学習している」⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①「話し方のきまり」を掲示し、児童が発言したり話し合ったりする際の参考にさせる。</p> <p>②授業の中に児童が考えたり話し合ったりする時間や自分の考えを発表する場を設け、児童が多様な考えをもち、主体的に学習に取り組めるようにする。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答割合は90.1%で、数値指標を十分達成しているが、昨年度よりは約3%低下した。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】 「話し方・聞き方のきまり」「声のものさし」を作成・掲示できたので、それを十分に活用して指導に当たる。「聞くことの上手な峰小学校」という合言葉を堅持し、よく聞けたときはほめて伸ばす。</p>

本校の特色・課題等	<p>A16 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「児童は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①授業の準備をしっかりするとともにチャイムの合図を守り、落ち着いて充実した授業が展開できるようにする。</p> <p>②「聞き方のきまり」「声のものさし」等を活用して授業態度を指導し、落ち着いた雰囲気での授業が進められるようにする。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>教職員の肯定的回答割合は93.1%で、数値指標を十分達成しているものの、前年度に比べ約4%低下した。また、児童の肯定的回答も7%低下した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>地域学校園での共通の取組として、授業開始・終了のあいさつの仕方（発声してから礼）、次の時間の学習用具を机に出してから休み時間にすること、チャイム着席の3点を徹底して指導する。</p>
	<p>B7 児童は、家庭学習の習慣を身に付けている。</p> <p>【数値目標】</p> <p>全体アンケート「自分の子どもは、家庭学習（宿題）をしている」⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①「家庭学習の手引き」を活用し、家庭時間の目安や自主学習の例などを示して、児童が主体的に家庭学習に取り組めるようにする。</p> <p>②家庭学習に対して適切な評価をするなど、児童の意欲を高める工夫をする。</p> <p>③学年だよりやHP等で家庭学習の意義や期待される効果を取り上げ、保護者の協力を得る。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>保護者の肯定的回答割合は昨年度を上回り、85.8%で数値指標を達成した。児童の肯定的回答割合も昨年度より上昇した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>次年度も引き続き「家庭学習の手引き」を活用するとともに、各学年で自主学習ノートや家庭学習記録カードを用意して、家庭学習の習慣化を図っていく。長期休暇明けに「家庭学習がんばり週間」を設け、児童の意欲を喚起するとともに、保護者への啓発を図る。</p>
	<p>B3 児童は、読書の習慣がついている。</p> <p>【数値目標】</p> <p>全体アンケート「自分は、楽しく読書をしている」⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①週2回の読書タイムを確実に実施する。</p> <p>②読書ノート「みね読書人」の活用を通して一層の活用を図る。</p> <p>③図書館だよりや「読書いっぱい活動」により、家庭と連携して「家読」を奨励する。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>児童の肯定的回答割合は89.7%で、数値指標を上回っている。しかし、保護者の肯定的回答割合は74.1%にとどまっている。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>昨年度に比べ、図書の貸し出し冊数が減少している学年が多いので、「読書タイム」の実施・「みね読書人」の活用・「読書いっぱい活動」の実施などを継続し、読書習慣の形成を目指していく。とくに、朝の「読書タイム」を遵守し、その日は朝学を行うことなく、本の世界に十分に浸らせるようにする。</p>
	<p>B4 学校は、異学年・異校種間の交流や保護者・地域の方との交流により学校生活に潤いをもたせ、「来たくなる学校づくり」を推進している。</p> <p>【数値目標】</p> <p>全体アンケート「自分は、異学年の友達や地域の方々と一緒に、充実した活動をしている」⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①児童会活動や学校行事等において、縦割り班での活動積極的に取り入れる。</p> <p>②授業や委員会、クラブ活動などにおいて、幼稚園・保育園・中学校・地域人材との交流を積極的に行い、内容の充実を図りながら、児童との豊かな心情を培う。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>児童の肯定的回答は87.8%で十分達成している。「なかよしタイム」「なかよし給食」「縦割り班清掃」での異学年交流により望ましい関係が築かれ、児童が楽しく学校生活を送る姿が見られた。土曜授業に「感謝の集い」を実施して、感謝の気持ちを伝えることができた。また、保護者やおやじの会、地域人材を学校行事や授業等に招致したことは、充実した活動に繋がった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>引き続き、縦割り班での活動を積極的に取り入れ、幼稚園・保育園・中学校・地域人材との交流の機会を確保し、「来たくなる学校づくり」を推進していく。</p>

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

「**学校運営**」に関わる内容項目では、A10「小中一貫教育・地域学校園」の保護者回答を除き90%以上の高い肯定的回答が得られた。なかでも、A2「教職員の指導」A7「情報の発信」については、肯定的回答の割合が高く、教職員・保護者・地域・児童とも95%以上であった。学校経営の理念の一つである「児童の長所を引き出し、ほめて伸ばす教育の実践」が少しずつ実を結んできたと考えられる。「家庭・地域・企業との連携」については、地域協議会と連携した学校教育支援ボランティアの活用により、陽東地域学校園教育ビジョンである「地域の教育力を生かし、地域とのかかわりを通し、心豊かでたくましく生きる子どもの育成」また、本校の学校経営の理念である「地域に学ぶ学校づくり」が、明るく活気のある雰囲気のもとで、教職員の指導力を生かしながら推進されていることが分かる。しかし、今年度より追加された項目A10「小中一貫教育・地域学校園」については、保護者の肯定的回答が86%であるため、小中一貫教育・地域学校園の活動をHPや学校だより・学年だより等で発信し、保護者の陽東地域への所属感を高めていく必要がある。

以下は本校の最重点活動である【**峰小 元気・やる気・思いやり活動**】の視点から考察をする。

「**健康・体育**」【**元気**】においては、A13「運動する習慣」については、保護者の肯定的回答は72%で若干改善したものの依然低い傾向にある。これは、家庭や地域での様子を中心に判断することが多くなったことによるものと思われるが、今後も家庭や地域と連携し、放課後や休日の運動の習慣化を図っていききたい。

健康面のA14「バランスのよい食事」については、教職員が好き嫌いを減らそうと課題意識をもって取り組んできたため、数値目標は達成したが、児童の肯定的回答の割合が若干減少した。栄養士と連携した授業の実施など取組を工夫していく。B5「歯みがきの習慣」は、児童や保護者の肯定的回答が、90%を上回り、学校や家庭において望ましい習慣が形成されていると言える。

「**学習指導**」【**やる気**】においては、A4「分かりやすい授業ときめ細かな指導」は教職員・保護者・地域・児童すべての肯定的回答の割合が90%以上であった。一人一授業等で積極的に授業を公開し互いの指導法を向上させてきたことの成果が出てきたものとする。今後も一人一授業も継続して行い、指導法のさらなる向上を目指す。B7「家庭学習の習慣」は昨年度と比較して肯定的回答が若干改善した。家庭学習ががんばり週間を中心に保護者の協力を得ながらさらなる習慣化を図っていく。B3「読書の習慣」は保護者の肯定的回答の割合が74%であるため、家庭での読書習慣がまだまだ定着していないことが伺える。家庭と連携して「家読」等の活動を工夫・継続していく。

A16「落ち着いて学習」の教職員・児童の肯定的回答の割合が昨年度より若干下回った。地域学校園での共通の取組として、休み時間の授業準備・チャイム着席を徹底し、落ち着いて授業に臨めるよう環境づくりに努めていく。

「**児童指導**」【**思いやり**】においては、B6「自他の尊重」について、教職員・保護者・児童の肯定的回答の割合がすべて90%以上で昨年度を上回っている。

A11「あいさつ」については地域住民・児童の肯定的回答が昨年を上回ったが、保護者の肯定的回答の割合は78%にとどまった。今後もPTAや地域協議会、地域学校園と連携したあいさつ運動を推進していく。

A5「いじめ対策」については教職員・地域・児童の肯定的回答は90%以上であるが、保護者の肯定的回答の割合は、昨年度より5%改善したもののまだまだ低い傾向にある。今後も、HPや学校だより等でいじめ対策や学校の現状を公表し保護者の理解を得るとともに、教職員自身が危機意識をもって範を示しながら、「その時、その場で、その人が」指導することを徹底したい。

今後も積極的な情報の発信に努め、地域・保護者の協力を仰ぎながら「チームみね」としての組織力を活用し、全職員で連携しながら、学校運営・改善に当たっていききたい。

6 学校関係者評価

「学校運営」について

- ・教職員は協力して指導しており、学校全体に活気があり明るい雰囲気である。また、学校だよりの発信で、地域の人も児童の情報を知ることができ、学校の様子がよくわかる。
- ・肯定的回答がほぼ90%以上で、教職員が自信をもって取り組んでいるので安心できる。
- ・保護者の評価で70%台の項目がある。それらは、教職員、地域住民、児童との差が大きいようで、慎重に評価結果を分析する必要があるのかもしれない。
- ・縦割り班清掃などで、ほぼ毎日異学年との会話ができて、学校全体が大きな家族のような雰囲気でも、思いやりの心が育ってきている。

「健康・体育」【元気】について

- ・ 休み時間に積極的に運動して、いきいきと生活している様子が見られる。
- ・ 体力面では、比較的運動する児童としない児童の差ははっきりしているのではないかと。その対策も必要になる。
- ・ 現代の子どもたちは、放課後が忙しいので、できるだけ業間など外に出て遊んでほしいと思う。
- ・ 検定カードを活用し、目標を設定して努力を促すことが、成果につながっている。

「学習指導」【やる気】について

- ・ 授業参観などでは、教職員は丁寧できめ細かな指導をしている様子が見られる。また、学校は清掃が行き届ききれいである。
- ・ 放課後子ども教室にくる児童は、すぐに宿題に取り掛かっている。家庭学習の指導が徹底し良い習慣が身についているようだ。
- ・ 小学校のうちに学習習慣を身に付けないと、中学校に行ってからできるようになるとは思えない。学力に直結しなくても興味をもってもらう工夫が必要と感じる。
- ・ A4, A9, A15, A16, B3 の項目で児童の肯定的回答の割合が前年を下回る評価であることが気になる。教職員は前年とほぼ変わらないので、落ち着いて学習できる環境を継続してほしい。
- ・ 清掃については、協力企業のサポートがまだ生かせる場面があると思う。清掃をがんばっている児童が多い。

「児童指導」【思いやり】について

- ・ 「いじめダメ！」が徹底されている。その場にいる先生がすぐに対応しているので、子どもたちも心強いと思う。
- ・ いじめ対策については、児童の肯定的回答も98%なので、引き続き児童の様子をしっかり見てほしい。
- ・ 保護者は目に見えないところ、特に児童指導については興味があるせいか、肯定的回答の割合は低めだが、積極的に情報発信していく姿勢を続けていくことが重要である。
- ・ 学校に行くと児童の方からあいさつしてくれるので、とても気持ちがよい。また、いじめられたという話を聞いたことがない。
- ・ 時と場に応じたあいさつができていていると思う。継続してほしい。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

学校関係者の皆様からのご意見から、本校児童、教職員が温かく見守られていることが実感できた。今年度の評価をもとに一人一人の児童がより充実した学校生活を送れるよう、個を生かす学年・学級づくり、分かりやすい授業づくりに、引き続き努めていきたい。また、学校や児童の様子を保護者・地域に適宜発信したり、学校公開を進めたり、保護者・地域と課題を共有し役割を分担して対応するなどの連携を図り、地域ぐるみで児童を育てていこうとする気運をより一層高めていきたい。

今年度明確になった成果と課題を踏まえて、次年度も、学校運営の最重点活動である【**峰小 元気・やる気・思いやり活動**】を全校体制で推進していきたい。

【元気】

- ・ 「健康でたくましい子」の実現活動として、「健康・体力向上活動」「早ね・早起き・朝ごはん活動」「食事好き嫌い撃退作戦」を推進していく。特に、児童に望ましい食習慣や運動習慣を身に付けられるよう、学校の取組について積極的に発信し、家庭との連携を図っていく。

【やる気】

- ・ 「よく考え進んで学ぶ子」の実現活動として、「基礎・基本の徹底」「分かる授業」「読書いっぱい活動」「家庭学習・自主学習の習慣化」の展開に努める。授業中には、話し合いの場を意図的に設定し、受容的な雰囲気のもとで思いや考えを伝え合う活動を積み重ねていくことにより、コミュニケーション能力の育成を図る。また、主体的に学習に取り組む態度を育成するため、学習のめあての提示と振り返りの充実を図る。

【思いやり】

- ・ 「心豊かで思いやりのある子」の実現活動として、陽東地域学校園やPTAと連携した「心をこめたあいさつ徹底運動」や「峰小よい子の一日」実践活動、さらに陽東地域学校園で共通して取り組む「ほめる教育」を推進することにより、基本的な生活習慣やルール・マナーを守る態度、及び自他を大切にしている心身の育成に努めたい。